

コロナ禍における大学体育

- 甲南大学の取り組みについて -

本学では「徳・体・知」のバランスの取れた人物教育に取り組み、体育を必修科目に位置づけています。本センターは、「徳・体・知」の人物教育の基盤を支えるため、スポーツ・健康科学に関する調査・研究および教育を行なっており、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、体育においても、Webを活用し、試行錯誤しながら授業を実施してきました。

今回の研究会では、「コロナ禍における大学体育」をテーマに本学での取り組みを紹介するとともに、今後の授業実施に役立てていただくことを目的に開催させていただきます。本研究会は、どなたでもご参加いただけます。視聴を希望される方は下記よりお申し込みください。

視聴期間 2021年1月20日(水)～26日(火)まで ※期間中いつでもご視聴いただけます。

配信方法 YouTube を使用したオンデマンド配信

第2部

3

外出自粛期間中における新入生の身体活動量及び心理的ストレス反応について

曾我部 晋哉 (共通教育センター教授 / スポーツ・健康科学教育研究センター兼任教員)

甲南大学では、1年次に全学生卒業必修単位である基礎体育学演習(体育実技と健康リテラシー講義)を受講することによって、新入生同士の交流を図り、受験後の体力回復、朝型のライフスタイルを定着させ、円滑に大学生活を始めることが出来るよう取り組んでいます。そして、1年間を通じて学生同士が身体活動を通じたコミュニケーションを図ることで、キャンパス内にもなじみが多くなり、甲南生らしい明るく活気ある学生達がキャンパスを賑わせています。

しかし、本年度は、新型コロナウイルスの影響で新入生も外出自粛要請により、通常の対面授業からWEBを活用した授業への変更を余儀なくされました。新しい大学生活に心躍らせていた学生達も自宅での学習となり、体育実技における身体活動量の確保ならびに新しい仲間づくりも困難な状況となりました。このような状況は、学生たちの身体的・社会的・精神的な問題としてマスメディアにも取り上げられていたことは周知の通りです。

本学には、学園創立者平生鈆三郎が主唱した「人格の修養と健康の増進を重んじ、個性を尊重して各人の天賦の特性を啓発する人物教育の率先」という建学の精神が教育の根本にあります。そのため、このようなコロナ禍においても学生の身体・健康もさることながら、学生達を取り巻く社会の健康、そして心の健康についてもケアしていく必要があると考えています。

そこで、我々は新入生約2,000名を対象に外出自粛期間中 Web 上で国際標準化身体活動質問票(IPAQ-short)及び心理的ストレス反応尺度(SRS-18)により、従来とは異なる環境でどのような生活を送り、どの程度ストレスを抱えているのかを調査しました。本調査から得られた結果をもとに、学生が活気あふれる生活を取り戻し、ひいては我が国の未来を築く若者たちの健康増進に寄与するために、WITH コロナ時代の大学体育について皆さんと一緒に考えたいと思います。

申込方法 URLまたは、右記QRコードからお申込みください。

お申込みはこちらから

<https://forms.gle/4EdwngqiEfcDNUqY7>

🔍 検索



問い合わせ先 甲南大学 スポーツ・健康科学教育研究センター

Tel : 078-435-2888 住所 : 神戸市東灘区岡本 8-9-1

E-Mail : sports@adm.konan-u.ac.jp